

## 第4章 基本計画



### 基本目標 1 学びを育むきっかけづくり

#### (1) 多様な学習機会の提供

市民一人ひとりの生活スタイルや価値観、社会情勢の変化に伴い、個人の生涯学習活動に対するニーズはさらに多様化が進んでいます。

その多様化したニーズは、趣味、目的、時間、場所、手法など様々であり、市民の学習ニーズを的確に把握し、住民が必要な学習をいつでもどこでも気軽に学べる学習環境を提供していく必要があります。

施策	内容
①市民ニーズに応じた講座の開催	<ul style="list-style-type: none"><li>従来行われている講座の構成や内容を適宜見直し、現代的課題や市民ニーズに対応した魅力ある講座を企画・実施します。また、講座の周知方法についても柔軟に見直し、これまでに受講したことのない市民の参加を促します。</li><li>市民一人ひとりのライフスタイルに対応した講座の開設時間や開催場所などを設定します。</li></ul>
②出前講座の充実	<ul style="list-style-type: none"><li>市が行っている事業や施策を知っていただくため、また、協働のまちづくりを推進するため、一層の出前講座の充実を図ります。また、幅広い年齢層に対応した講座メニューの充実を図ります。</li></ul>
③芸術文化に関する学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none"><li>講座やイベント、美術展などを通して、多くの市民が優れた芸術文化にふれることができる機会を提供し、市民による自主的な文化芸術活動を支援します。</li></ul>
④健康づくりのための学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none"><li>健康づくりに関する団体等と連携し、健康づくり運動の推進や協働イベントの開催など、身近な地域で多世代が参加できる事業を展開します。</li></ul>

施策	内容
⑤スポーツ・レクリエーションのための学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ教室や健康づくり講座の開催など、市民が気軽に継続的にスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。また、レクリエーションやニュースポーツ・若者向けのスポーツなどのスポーツ事業を実施し、スポーツの推進と地域の活性化をめざします。</li> </ul>
⑥ICTを活用した学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの対面式の講座提供に加え、オンライン方式での講座の開催を図ります。</li> <li>・動画配信によるリモート学習など、多様なデジタルコンテンツを活用した学習機会の提供に努めます。</li> </ul>



出前講座

## (2) 多様な人々に合わせた学習支援

市民が生涯にわたって学習活動を継続していくためには、ライフステージに応じた学習機会の充実が不可欠であり、乳幼児期、青少年期、成人期、高齢期といった各年代において、ふさわしい学習課題を選択し興味をもてる生涯学習活動に取り組んでいく必要があります。

また、年齢だけでなく、性別や国籍、障害の有無などに左右されることなく、多様な人々の誰もが学びたいときに学べる環境づくりも必要です。

施策	内容
①乳幼児期の学習支援	・乳幼児をもつ子育て家庭に対し、子育て支援センター等を通して、親子のふれあいの機会や育児に関する学習の場を提供し、家庭教育支援を推進します。
②青少年期の学習支援	・青少年の社会的・職業的な自立のため、生涯学習講座等においてキャリア教育※を推進していきます。 ・有害な社会環境から青少年を守るため、非行防止意識を高めるための教室や講座等を実施します。
③成人期の学習支援	・高等教育機関などと連携し、社会に出た人が自己実現や職業能力の向上などに必要な知識、技能、教養を身につけるための学習機会を提供し、リカレント教育※の充実を図ります。
④高齢期の学習支援	・高齢者の健康で生きがいのある生活を支援するため、介護予防事業などを実施し、気軽に社会参加できる機会を提供します。 ・シルバー人材センター等を通して、高齢者が知識・経験・技能を地域社会に還元できる機会の提供を図ります。
⑤障害のある人への学習支援	・障害のある人が様々な学習機会を得られるよう、障害者のスポーツ活動や文化芸術活動の支援をはじめ、障害者に配慮した支援事業の充実に努めます。
⑥外国人住民への学習支援	・外国人住民が豊かな生涯学習活動ができるように、言語や生活習慣等の違いに対応した学習機会の提供に努めます。 ・外国人住民と日本人住民が交流し、文化や習慣など相互理解を深め、共に学びあう学習機会の提供を図ります。

※キャリア教育：一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育。

※リカレント教育：学校教育から離れて社会に出た後に、教育と就労のサイクルを周期的に繰り返す教育制度のこと。「学び直し教育」とも。

### (3) 成果発表や活躍できる場の充実

学習の成果を発表することや地域社会で活かすことは、個人の学習意欲や技術習得を向上させるとともに、地域社会の活性化にも繋がります。人生100年時代において、持続可能な生涯学習及び学習意欲の向上のためにも、成果発表や地域で活躍できる場を提供していく必要があります。

また、新たな学習機会の提供や人材発掘のためにも、自主的なグループ活動への支援や市内にある特色ある施設を有効活用し、魅力ある事業展開や施設利用を促していく必要があります。

施策	内容
①自主グループ化への支援	・各種講座の終了後、受講者が新たな団体として学習活動を継続できるよう、自主グループに発展するための支援を行います。
②成果発表の場の充実	・文化祭、公民館まつり、各種作品展・発表会など、学習成果を広く市民に発表する場の充実を図ります。
③社会教育関係団体への支援	・一定の基準を満たした登録団体に対して、施設使用料や活動PRなどの面において支援を行います。
④公共施設の有効活用	・音楽や演劇の講演会、美術展など、各施設の特性を生かした事業を展開し、学習成果が地域に根付くための支援を行います。
⑤学習成果の活用の仕組みづくり	・各種講座の修了者が、その成果を発表会や展示会で活用するなど、学習活動で培った知識や技能を地域社会の中で活用できるような仕組みづくりを推進します。



文化祭



学ばまい生涯学習

## 基本目標 2 学びがつなげる地域づくり

### (1) 家庭・学校・地域・関係機関との連携強化

地域全体で教育力の向上に取り組む社会を目指すため、個人や家庭のみならず、学校、地域及び各関係団体が連携して取り組む必要があります。

また、専門性の高い高度な学習を得るため大学などの専門機関、民間のノウハウを得た効果的な学習機会の提供など幅広い機関と連携して共に学びあう体制づくりをしていく必要があります。

施策	内容
①生涯学習活動に関わる団体相互の連携強化	・HEXPO STAFF、子ども会、青少年育成推進員など、生涯学習活動に関わる団体相互の連携強化を図ります。
②親子ふれあい活動の推進	・公民館を拠点とした親子のふれあい活動を充実し、活動の担い手となっている「青少年育成推進員」、「おやじの会」などの活動を支援します。
③青少年健全育成の推進	・非行の防止、モラル向上のため、青少年育成推進委員などの市民団体による啓発活動やパトロール活動を推進します。
④教育普及活動の充実	・図書館、美術館、水族館などにおいて、小中学校との連携による教育普及活動を行うとともに、講演会やワークショップなどの充実を図ります。
⑤大学や民間事業者との連携	・地域社会への貢献を目的とする活動を行う大学や民間事業者と連携し、生涯学習講座などの充実を図ります。
⑥国・県・近隣市との連携	・円滑な生涯学習施策を遂行するため、国や県との連携・協力体制の強化を図ります。また、市民の生涯学習活動の幅を広げるため、近隣市との相互協力や情報交換を推進します。
⑦地域学校協働活動の推進	・地域と連携し、子どもたちが安心して居場所を確保しながら様々な体験や学びに触れられるよう、放課後子ども教室などの地域学校協働活動を推進していきます。

## (2) 指導者・ボランティア人材の発掘と育成

市民の自主的な生涯学習を推進するためには、学習活動に対して助言する高度な知識や技術をもった指導者の存在が不可欠であり、様々な分野での指導者の発掘・育成に努める必要があります。

また、指導者としてボランティア活動をしていただける人の発掘及び活躍の場を提供し、地域で活躍できる仕組みづくりをしていく必要があります。

施策	内容
①人材の発掘・育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HEXPO STAFFや文化協会などの生涯学習活動に関わる団体への支援を通じて、指導者やボランティアとなる人材の発掘と育成を図ります。</li> <li>・未来の担い手となる人材を育成するための新たな方策を検討していきます。</li> </ul>
②コーディネーターの育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の課題解決のため、学習相談に応じたり地域活動を支援したりする生涯学習コーディネーターの育成を図ります。</li> </ul>
③指導者登録の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民・社会教育関係団体、学校、サークル等の要望に応じて指導者を紹介するため、生涯学習の分野で活躍している指導者リストの充実を図ります。</li> </ul>
④次世代リーダーの育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HEXPO STAFF活動事業や成人式事業などを通して、若者が主体となって企画・運営する事業を推進し、生涯学習事業に関わらず将来的に幅広い分野でのまちづくりを担う次世代リーダーの育成を図ります。</li> </ul>
⑤ボランティアの育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの活動拠点の提供、ボランティアの養成講座の実施、ボランティアに関する情報提供・相談などを通して、ボランティアを始めるためのノウハウや体験の場の提供に努めます。また、ボランティア活動をより活発化させるために、ボランティア団体同士の交流の場の提供や、スキルアップ講座の開催を図ります。</li> </ul>



HEXPO STAFF



成人式

### (3) 地域に関する学習の推進

生涯学習活動を通してこの地域の文化や歴史、風習などを学ぶことで、郷土への愛着や誇りを育て、自身が地域社会の一員であることの自覚を育む取り組みが必要です。

また、地域の各関係機関と連携・協力をして地域全体で学びあい、地域コミュニティの活性化や住みよい地域社会の構築に繋がるような取り組みをしていく必要があります。

施策	内容
①地域と連携した学習の推進	・各関係機関と協力をして講座やイベントを開催し、地域課題の解決やボランティアなどの住民主体の地域活動を推進します。
②地域の文化や歴史の学習の推進	・郷土の文化や歴史、風習、地域資源に関する情報発信や学べる講座を開催します。 ・郷土資料の収集や公開をし、市民の郷土に関する学習機会の充実を図ります。



もちつき大会（おやじの会）



稲刈り（おやじの会）

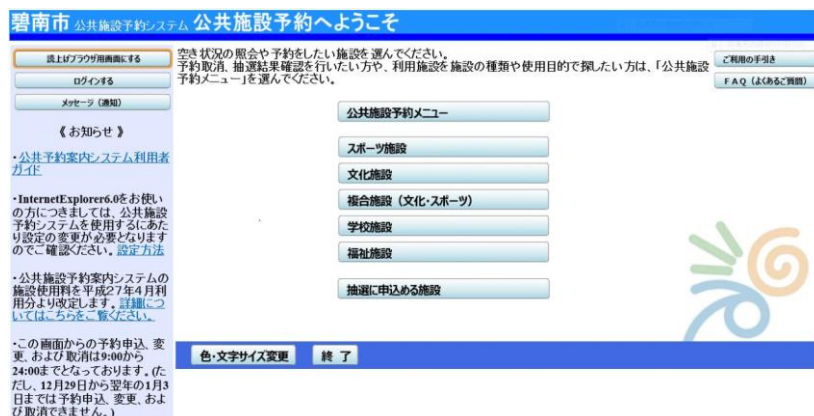
## 基本目標3 学びを支える体制づくり

### (1) 情報提供の充実

生涯学習活動に関する講座やイベント、各団体の活動は、幅広い内容で多くの種類が行われており、その情報を整理して市民に分かりやすく、必要な人に的確な情報を様々な媒体や手法で提供していく必要があります。

また、公共施設の利用促進を図るため予約方法に関する情報や手法を分かりやすく周知するとともに、予約システムの充実をしていく必要があります。

施策	内容
①生涯学習に関する情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習に関する講座やイベントなどを、広報をはじめホームページや公式SNSなど、様々な媒体で分かりやすく見つけやすい学習情報を提供します。</li> <li>・各団体や自主グループの活性化を図るため、活動内容や活動日などの団体の情報を広く周知します。</li> <li>・外国人住民への情報発信のため、多言語に対応した学習情報の提供に努めます。</li> </ul>
②公共施設予約システムの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動の拠点となる公民館やスポーツ施設の利用について、施設予約の際の市民の利便性向上のため、公共施設予約システムの充実を図ります。</li> </ul>
③ICTの活用による情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや公式SNSなどのICTツールを活用し、さまざまな年齢層やターゲットに対して生涯学習情報を提供します。</li> <li>・ICTの普及・進展にあわせて、新たな情報提供の方法を研究し、効果的な情報提供を推進していきます。</li> </ul>



公共施設予約案内システム（ホーム画面）

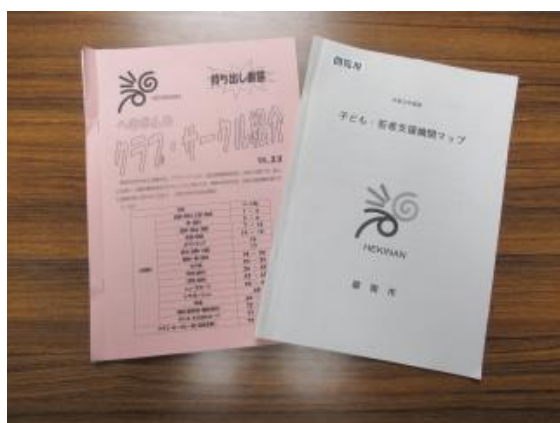


## (2) 相談・支援体制の充実

生涯学習に取り組む市民に、必要としている情報を入手しやすく提供するとともに、活動するうえでの悩みや疑問などの相談に対応し、市民一人ひとりにあった生涯学習活動が行われるように支援します。

また、市民や団体の、様々な学習や生活上の不安・悩みの解決に向けて、気軽に相談できるよう、関係機関・団体等と連携し、相談体制の充実を図ります。

施策	内容
①相談窓口の充実	・市や関係機関、団体、自主サークルなどが行っている生涯学習関連事業や各種講座、イベントの情報を把握・集約し、生涯学習に取り組む市民からの相談に応じることができる体制づくりに努めます。
②クラブ・サークル情報の充実	・文化芸術・生涯学習・スポーツなど、自主的な活動を行っているクラブ・サークル（社会教育関係団体）情報の充実を図り、講師や団体などの紹介を行います。
③子ども・若者の相談体制の充実	・不登校、ひきこもりなど、社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者の相談に応じ、その子ども・若者の状況に応じて支援機関につながります。



クラブ・サークル紹介（左）  
子供・若者支援マップ（右）



クラブ活動の様子

### (3) 生涯学習施設の維持管理と利活用

市民がいつでもどこでも生涯学習活動に参加できる環境を整備していくために、身近な学習の場である公共施設の整備をしていく必要があります。そのため、公共施設の計画的な整備・改修を行い、その機能の充実を図り、限られた施設の有効活用に努めます。

また、施設の安全性を確保することはもとより、多様化する学習・利用ニーズに応えられるようにICT環境などの整備などを計画的に行う必要があります。

施策	内容
①生涯学習関連施設の整備	・文化施設・スポーツ施設ともに老朽化が進んでいるため、利用者の安全や利便性を確保するため、計画的な改築や改修を行います。
②ICT環境の整備・充実	・公共施設の利便性向上のため、各施設における無線LANなどのネット環境の整備を検討し、ICTを活用した学習活動に必要なパソコンやタブレットなどの情報端末の導入についても検討します。



電子図書